

令和7年度第2回入札等監視委員会会議要旨

- 1 開催日時 令和7年12月15日（月）午後2時から午後3時15分まで
2 開催場所 市役所会議棟202会議室
3 出席者 廣田 直行委員、小野寺 浩一委員、藤本 麻里子委員
4 事務局 平川財政課長、石井係長、岡島主査、小島主査補、笛田主査補
5 議事 1 議事
2 その他

議事（1）令和7年度上半期の入札手続き状況について

議長 初めに、議事の（1）令和7年度上半期の入札手続き状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【令和7年度上半期の入札手続き状況を説明】

議長 千葉県の方では、工事の入札不調が続いているということを聞くんですけれども、印西市の不調1件、不落2件というのは少ない方ですね。県と比べると、少ないかなと思います。

事務局 今年度上半期ですが、入札不調の大きなものだと、工事の中で総合評価方式の1件が不調になりました、その後、制限付き一般競争入札を行いました、この12月議会に契約議案として提出しております。

議長 工事の単価については、やっぱり県単価を使われていますか。

事務局 お見込みのとおりです。

議長 非常に順調に行われているという感じでしょうか。

事務局 比較的順調です。

【委員了解】

議長 それでは、事前に選定した案件の審議に移らさせていただきます。説明をお願いします。

事務局 まず、物品ですが、1件でございます。

《広報いんざい連載漫画ナスちゃん全集印刷製本》

こちらにつきましては、低落札率となった理由、予定価格（積算価格）の決定方法についてのご質問をいただいております。

担当課に確認しましたところ、まず落札率につきましては、各社の競争による入札の結果と認識しており、発注時の仕様と同じ品質規格のものが納期通りに低額で納入されるため、特段の問題はないものと考えているとのことでございました。

次に、積算方法につきましては、事前に3者に見積を依頼し、そのうち価格が真ん中の業者のものを採用して設計したものでございますが、この時点で安い業者と高い業者では約1.8倍の差があり、今回の入札では更に競争がなされたものと考えているとのことでございました。

議長	最初の段階で 1.8 倍、業者見積を依頼した段階で、高い業者と安い業者では 1.8 倍の差があったということですか。
事務局	そのとおりです。
議長	そのときに、その印刷の仕様の問題については、特段違いはないということですね。
事務局	仕様を示して見積を依頼しております。 【委員了解】
事務局	『【長期】市有バス運行管理業務委託』 『印西市立幼稚園送迎バス運行管理業務委託』 こちらの 2 件につきましては、落札率が 50% 未満だが先方の 人件費などは大丈夫なのか、他の入札者と比べて入札金額内訳に問題はないのか、品質と先方人件費は契約に耐えられるのかとのご質問をいただいております。 担当課に確認しましたところ、まず積算につきましては、市有バスでは公共工事で用いる運転手単価をベースに設計を組んでおりました。幼稚園バスにつきましては、事前に 3 者に見積を依頼し、その平均で設計を組みましたが、その時点で安い会社と高い業者では約 3 倍の差がございました。 次に、落札率について担当課に確認したところ、入札者が応札した金額なので、特段問題はないと考えておりました。昨年度と比較すると、入札金額は約 10% 上がっているとのことでございました。 次に、入札金額内訳につきましては、どちらも内訳書を求めておりませんでした。 次に、品質と先方人件費につきましても確認しましたところ、現在まで運行管理業務を滞りなく行っており、大きな事故もないが、引き続き注意を払っていくとのことでございました。 それぞれのバスですが、バスのサイズはどんな大きさですか。 まず、市有バスの方が中型バスとなりますので、全長が 9 m のバスになります。幼稚園バスの方につきましては、マイクロバスですので、全長が 7 m になります。 この落札金額は、単価でいいんですよね。
委員 事務局	そうなります。 そのサイズのバスで 19,000 円と 8,000 円というのは、私の考え方ではありえないんですけども。今、レンタカーを借りていますけど、1 日 5,000 円で 1500cc クラスのステーションワゴンなんですよね。バスだったら、もっと高くないとおかしいですね。 これは市のバスとして、運転だけを委託するという業務内容になります。
委員 事務局 委員	ということは、丸々人件費ということですね。 人件費と、あとは任意保険等です。 1 日 8 時間じゃなくて、もっと短いかもしないけども、それにしても安いなという印象です。この平均完成工事高等とは、売上ということですね。
事務局	
委員 事務局 委員	

事務局 委員	お見込みのとおりです。 これを見ると、圧倒的にこの業者は小さいんですね。1者でこんなに安く請負って大丈夫なのかという余計なお世話なんですけども、特段心配ないならいいんですけど、数字を見る限り、市が無理を押し付けているということはないと思いますけども、無理して安い値段でやってくれているのかなという印象は拭えないですね。その意味で、この会社の事業継続性が大丈夫なのかというのがちょっと心配ですので、入札の仕組みとは関係ないですけども、担当課の方では、ちゃんとモニタリングじゃないですけれども、ちゃんと事業継続できるかというのは、しっかり見ていただきたいなと思いました。入札的には特に問題ないと思います。
議長 事務局	ちなみに運転手の年齢制限とか付けているんですか。 市有バスの方につきましては、70歳未満ということでございました。幼稚園バスの方は、年齢制限はないです。
議長 委員	それは心配ですね。 1点目が任意保険というのは、何かそういう規定はどのようなものがあるかということと、この落札者は前年度からの引き続きですか。
事務局	任意保険の内容でございますが、市有バスの方は、車両保険については時価相当額、対人・対物無制限、搭乗者傷害保険1,000万円になっております。幼稚園送迎バスの方は、車両保険時価相当額、対人・対物無制限、搭乗者傷害保険1,000万円、あとは医療保険金として入院日額1万円、通院日額5,000円になっております。また、昨年度もこの会社で、ここ数年は両方ともこの会社です。
委員	この仕事をメイン業務として仕事を回してらっしゃるような会社ですか。
事務局	市では、他の仕事はちょっとわからないのですが、この業務については、やっていただいております。
議長	年齢制限だけはきっちり付けられた方が事故への対応、老人の事故等が増えていますので、ご検討いただければと思います。
	【委員了解】
事務局	<p>『地方公会計財務書類作成業務委託』</p> <p>こちらにつきましては、指名業者数、落札率が低いが他の入札者の入札金額、業務内容の詳細についてご質問をいただきました。</p> <p>担当課に確認しましたところ、まず指名業者数につきましては、5者でございます。</p> <p>次に、積算につきましては、事前に3者に見積を依頼し、その平均で設計しましたが、この時点での安い業者と高い業者では、1.5倍の差がございました。他2者の入札価格については、開札調書の通りでございまして、それぞれ予定価格に対して約87%と約99%でございました。</p> <p>続きまして、業務内容でございますが、固定資産台帳の更新、財務書類の作成分析活用及び公表に向けた支援、セグメント分析でござ</p>

委員

いまして、詳細につきましては、契約後の5月に契約内容やスケジュールに関する打ち合わせを対面で実施する、これが3時間程度。契約期間内に財務書類の作成からセグメント分析までを電話やメール、必要に応じて対面で進める。

財務書類の活用支援として2月頃に庁舎内で対象職員向けの研修を実施する、これが2時間程度。

完成品ができる3月頃に会計課内で財務書類作成システムへの取り込み作業を実施する、これも2時間程度でございました。

担当課の評価といたしましては、総務省の統一基準による財務書類の作成開始から9年目を迎える、財務書類作成マニュアルに沿った作成方法や支援方法がある程度確立される中、当初の契約実績がある業者であるため、妥当と評価しているとのことでございました。

詳細な説明ありがとうございます。これは非常に入札に馴染むようなものだと思いますね。大雑把に言ってゴールは決まっているけども、やり方とかは業者の能力・裁量によって任せられているので、この値段も非常に幅があって、これを多分高いところでやってもらつたとしても、単価高い人が対応してくれるということで、あと品質もネームバリューの高い会計事務所が入っているんで、信頼性があるかなというそんな程度ですけど、実際の人が動く時間はやっぱり少ないので、やっぱり入札でやることで、一定以上の品質で業務をやってもらうということに成功できるものだなと思いました。非常に聞いて良かったです。

【委員了解】

事務局

《令和7年度印西市立保育園ガスヒートポンプ点検業務委託》

こちらにつきましては、指名した5者中4者が辞退した理由、落札率100%となった理由についてご質問をいただいております。

担当課によりますと、まず今回4者が辞退となりましたが、その理由は会社都合2者、技術者の確保が困難2者でございました。

指名業者の選定に当たりましては、県内で同種の履行実績を有する上位4者及び当該業務の簡易点検で実績のある業者を選定しており、各社とも技術面で対応できないことはないと考えて指名したことでございました。

次に、この業務は今回初めて行うもので、積算は事前の業者見積1者を基に設計を行っており、落札率につきましては、最近の人件費や物価高騰の影響などが影響しているのではないかと考えているとのことでございました。

落札者と見積業者は一緒ということでよろしいですか。
お見込みのとおりです。

設備業者が中々掴まらないというご時世なので、4者辞退というのはわかったんですけども、ちょっと100%というのがどういういきさつなのかが気になったもので、見積業者が落札したということで理解しました。

議長
事務局
議長

【委員了解】

事務局	『【長期】印西市学校給食センター産業廃棄物収集運搬業務』 こちらにつきましては、落札率 100% になった理由、入札辞退・無効により 1 者入札となつたがその理由についてのご質問をいただきました。 担当課に確認しましたところ、まず積算につきましては、事前に業者見積を数者に依頼しましたが、1 者のみ提出があつたとのことでございました。 落札率につきましては、人件費や燃料費の高騰などによりコストカットができにくかったのではないかと考察しております。 次に、3 者が辞退となりましたが、その理由はすべて人員確保が困難というもので、未入札の理由につきましては把握しております。
委員	お聞きしたいのが、見積を依頼して出さなかつたところというのはこの 5 者の中に入っているのかということと、先程と同じように今回の落札業者が唯一見積を出した業者ということなのでしょうか。見積を依頼した社名までは手元に資料がないためわかりかねますが、落札業者にも見積を依頼したことは確認しております。
事務局	感想みたいな感じになりますが、やっぱり人がいないとか、業者が見つからないと、こうやって 1 者での金額でとなると、あまり入札としての意味がなくなっているのかなと思いますので、どうしたらいいのかというところをちょっと検討していくかないといけないのかなとは思います。
委員	この業者は、昨年も同じですか。 昨年度も同じ業者でございました。
議長 事務局 議長	あまり長く続きますとあらぬ心配が出てきますので、その辺は委員がおっしゃったご指摘の通りだと思いますので、ご検討よろしくお願ひいたします。

【委員了解】

事務局	『令和 7 年度多々羅田公園トイレ更新工事設計業務委託』 こちらにつきましても、落札率が 100% となった理由、入札辞退・無効により 1 者入札となつたが、その理由についてのご質問をいただきました。 担当課に確認しましたところ、まず設計価格につきましては、千葉県公共建築設計業務等積算基準及び最新の労務単価により積算を行つており、積算に問題はないと考えております。 落札率につきましては、近年の技術者不足等の影響もあり、予定価格と同額でなければ技術者を確保することができる賃金等を確保できないために、この金額で入札したのではないかと考えております。次回は早期に発注することで、少しでも対応したいとのことでございました。 次に、4 者が辞退となりましたが、その理由はすべて人手不足に関
-----	--

	するもので、技術者の確保が困難1者、下請け協力会社の確保が困難3者でございました。
委員	これも何とか競争ができるような形をしばらくこの人手が足りないという時代は続くような気がしますので、そこは課題意識を持っていただければと思います。
議長	建築の設計業務のことなので、私の分野だと思うんですけれども、千葉県の設計単価を入れたということですけども、設計料の算出というのは、多分人件費掛ける工事内容の図面枚数だと思うんですよね。ですから、その積算というのは、何というのか、その業務に何枚の図面が必要か、そこに何人必要かということで算出すると思うんですが、それが100%になるということは多分考えられないことなので、これも事前に金抜き設計書を公表したということですか。お見込みのとおりです。
事務局 議長	なるほど。そうすると、算出根拠は予定価格をそういう風に決めたということで、それを公表したので、その金額上限で応札してきました、そういう理解でよろしいですか。
事務局 議長	そうかもしれません。 そうなると、こちらの案件についても、事前公表がいいのかということになると思いますので、その辺についても課題にしていただく必要があると思います。

【委員了解】

	《内野小学校ほか空調設備設置工事》 《西の原小学校ほか空調設備設置工事》 《いには野小学校空調設備設置工事》
事務局	こちらにつきましては、同じ企業が落札率92%で、かつほぼ1者入札となった理由のご質問をいただきました。 担当課に確認しましたところ、まず落札率につきましては、金抜き設計書や予定価格が事前に公表されていること、最低制限価格の算出方法が国と同じものを使っているため、入札業者がそれを基に入札金額を算出していることが要因と考えられる。 また、入札参加者が少なくなった理由は、全国的に空調設備の導入が求められており、各地で施工業者への需要が高まっているため、入札業者が少なくなったと考えている。担当課として、仕様や設計積算に問題はなかったと考えているが、今後は入札参加条件の所在地の範囲をもっと広くする等して、入札業者の増加を図っていきたいとのことでございました。
議長	私の方から確認ですが、これも予定価格は公表されていたということですか。
事務局 議長	予定価格は事前公表です。 そうですね。それに対して92%というのは、これはどういう最低制限価格の算出方法ですか。
事務局	最低制限価格の算出方法でございますが、国と同じ計算式を採用しております、直接工事費の97%、共通仮設費の90%、現場管理費

	の 90%、一般管理費の 68%の合計額と、予定価格の 92%を比較しまして、そのどちらか安い方の金額が最低制限価格になるというものを印西市で使っております。
議長	そうすると、基本的に予定価格の 92%が最低価格だというのは、業者は周知の事実としている訳ですね。
事務局	案件によって違うのですが、92%より下回る場合もありますが、今回の場合は 92%でした。
議長	設計金額の 92%、その案件によってそれぞれ直接工事費の 97%とかというのを掛けていったものの合計ということを内訳まで企業は知っているということですね。
事務局	金抜き設計書の方を事前公表しておりますので、それを基に計算していくことだと思います。
議長	わかりました。予定金額が公表されていて、調書も公表されているので、92%というのはどちらの企業も算出できるんだよという理解でよろしいですか。
事務局 議長	できる業者もいますし、できない業者もいます。 できない業者がいるのであれば、2者がくじ引き抽選だったという根拠にならないですから、公表されている資料で積み上げていくと 92%、または積み上げの安い方が最低制限価格になるという説明が理解できるんですけども、それでよろしいですか。
事務局 議長	そうなります。 わかりました。今回の件も設備工事なので企業が掴まらないという、どこの自治体の悩みでもあると思うんですけども、どこまで公表するかということがやっぱり課題になると思いますので、その辺は検討の余地があるのかなと思います。

【委員了解】

	《印西中学校屋内運動場保全改修工事》
事務局	こちらにつきましては、総合評価の評価基準、結果詳細、落札者は指名停止期間があったはずだが、指名停止から回復までの経緯を時系列で教えてくださいという質問でございます。
	担当課に確認しましたところ、まず評価基準につきましては、印西市総合評価方式ガイドラインに沿って評価基準を設定し、入札公告を行ったものでございます。
	結果につきましては、技術評価点と価格評価点の合計を評価値として、得点の高い入札者を落札候補者としたものでございます。
	続きまして、指名停止の関係でございますが、当該業者の旧代表者は千葉県職員への贈収賄事件により逮捕され、令和 6 年 1 月及び 3 月に印西市から 1~2か月間の指名停止措置を受け、その期間満了後には指名停止を解除しております。
	また、その後、この贈収賄事件の刑が確定したことにより、令和 7 年 6 月 28 日から 1 年間、土木工事業及び鋼構造物工事業のうち、公共工事に係るものについて、建設業法に基づき、千葉県から営業停止処分を受けておりますが、今回の工事は建築一式工事であるた

	め、影響はございませんでした。
委員	手続き的には適法にやられているという説明だったと思います。ちょっと市民として引っ掛かるところがこの業者に関しては、指名停止となった理由が悪質だと思うんですよね。それがたったこれだけの期間で喪が明けて、できちゃうのかというのがちょっと疑問なんです。ただ別にここだけじゃなくて、他も全国日本全国どこでも同じような運用で、それ以上厳しいところってほとんどないんですね。その辺がちょっと解せないんですけど、仕組みとしてどうなっているのかというのもちょっとお聞きして、そういうことなのかという感想しか出てこないです。
議長	土木工事のみの指名停止だったというご説明でしたけれども、それは贈収賄なのに、土木工事だけに限定したというはどういう形態ですか。
事務局 議長	最初の令和6年1月と3月の時は、すべての業種で指名停止です。12か月間ですか。
事務局	はい。更に、今年になりますて、建設業法に基づき、土木工事業と鋼構造物工事業のうち、公共工事のみ営業停止ということで、千葉県から処分を受けています。前回とは別にプラス処分が出たということです。最初の令和6年のときのものはすべて解除されておりますので、今現在ですと、今申し上げたもの、公共工事に係るものだけが建設業法に基づきまして、営業停止ということです。
議長	細かいところで、評価項目の事故及び不誠実な行為ということで、過去1年間に不誠実な行為があった、過去2年間に不誠実な行為による指名停止ありというのは、この総合評価のときに、この点数を入れてもトップだったという、そういうことですか。
事務局 議長	お見込みのとおりです。 これは確か、印西市は千葉県に委託して、千葉県で総合評価をやっていると思うんですけど、この不誠実な行為というのは、今説明あった件というのは今までなかったものですから、いつの総合評価なんでしょうか。
事務局	今年の6月になります。あとは先程の説明通りなのですが、この業者はマイナス15点あっても技術評価点が1位でした。
委員	それはすごいですね。
委員	技術評価点7.8点ですもんね。
議長	入札手続きは適正に行われたということで、委員よろしいでしょうか。
委員	はい。

【委員了解】

『中の口消防団器具庫解体工事』
こちらにつきましては、工事内容と入札結果についてご質問をいただきました。
担当課に確認しましたところ、まず工事の内容でございますが、器具庫につきましては、昨年度移転新築工事と解体工事をセットで入

札に付しましたが、不調となつたことから先行して新築工事のみを昨年度行い、解体工事を今年度に行ったものでございます。

解体工事の内容でございますが、木造平屋建、延床面積 32.29 m² の器具庫と併せて、地下にある RC 造、面積 23.76 m² の防火水槽の解体で、入札結果につきましては、開札調書の通りでございまして、辞退の理由につきましては、技術者の確保が困難 1 者、会社都合 1 者でございます。失格の理由につきましては、最低制限価格を下回ったものでございます。

委員

特に問題ないと思いました。これも先程の業者だったので、ちょっと聞いてみたところです。あと、この工事の内容を延床面積 32 m² でこの値段はちょっと高いと思いましたけど、防火水槽が下にあるということなので、このくらい掛かって当然なのかなと思いましたので、問題ないと思います。

議長
事務局
議長
事務局
議長
事務局
委員
事務局

ちなみに、こちらも予定金額を事前公表されている訳ですね。

そうです。

公開されていて、そしてこの業者が 92%。

お見込みのとおりです。

それで、この失格業者が 90% で札を入れてきたと。

はい。

その最低制限価格というものは、これは % で決まっているんですか。先程申し上げた計算式と予定価格の 92% とを比較して、安い方になります。

【委員了解】

《令和 7 年度上半期に入札中止等案件》

事務局

令和 7 年度上半期に入札中止等になったもの 11 件について、その理由につきまして、ご質問をいただいております。

全体的な概要を説明させていただきます。入札中止等になった 11 件の内訳でございますが、中止が 6 件、不調が 3 件、不落が 2 件でございます。また、業種別に申し上げますと、物品が 3 件、測量等が 1 件、工事が 7 件でございます。

それぞれの理由といたしまして、中止は、開札後の疑義申し立てによるものが 2 件、入札公告後に設計内容や入札参加条件の不備がわかったものが 2 件、その他 2 件でございます。

不調は、入札参加者がいなかつたものが 2 件、一度参加申請があつたものの、入札日までに辞退されたものが 1 件でございます。

不落は、開札しましたが、最低制限価格から予定価格の範囲内に入札者がいなかつたものが 2 件でございます。

これら 11 件のうち 10 件は、再度入札に付し、契約に至っております。残り 1 件は、来年度に先送りをしております。

委員

これが一番冒頭でも課長から説明いただいたものと重複させてしまつてすいません。市側のミスで駄目になったというのは、2 件ということですよね。

事務局

お見込みのとおりです。

委員 意見で、入札やってみたら疑義があつてというのがその後更に出て
いるので、あとその他の理由ということですけど、そういう意味では、そんな大きな問題がこちらにあったということじゃなかつたと前提としては思います。

議長 やっぱり価格的なところで、この値段じゃできないよというところが最近増えてきていると思うので、そういったところがあつたら、その必要な事業がタイムリーにできなくなり、もう1回手間が掛かって入札手続きをしてという、全体としての事務コストも掛かってしまうので、そうならないことが望ましいと思いますので、引き続き、順調に入札手続きできるように努力していただきたいと思います。

【委員了解】

事務局 《印西市役所自家用電気工作物保安管理業務》（令和6年度）
こちらにつきましては、前回の委員会から繰り越しとなつた案件でございます。前回のご質問の中で、落札率が100%になつたことにつきまして、ご質問いただきました。

担当課であるDX推進課に確認をいたしまして、まず積算方法につきましては、事前に3者に見積を依頼し、その過程で電気技術者の人手不足を感じ、一番高い価格で設計を組んだということでございました。その後、見積を依頼した時点と実際の入札時点とでは時間が経過したことで、業者側の事情も変わり、更なる人手不足や他の業務に人手が回ったことで、事前に見積を依頼した業者ではこの業務に人手を割けず、予定価格を参考に積算した業者が人件費や物価の高騰等を踏まえ、その金額でなければ請負うことができなかつたことが考えられるとのことでございました。

今後の対策としては、技術者の状況を業者に聞き取り調査をすることや、規定数以上に指名業者を増やすこと、電気技術者が確保されている業者を選定するよう努めたいとのことを確認しております。

議長 見積を依頼したときには、有効期限は当然入っていますよね。
事務局 はい。

議長 その有効期限内で結果的にその有効期限を守れないという企業側が
言ってきて、こういうことになつたという理解でよろしいですか。
事務局 そうですね。あとは業者側の人手の問題等もあるかと思います。

【委員了解】

議長 本日の選定案件は以上となっております。その他配布されている資料の中からご質問等ご意見があればいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
それでは、これで本日の議事はすべて終了となります。

令和7年12月15日に行われた印西市入札等監視委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員_____ 藤本 麻里子 _____